

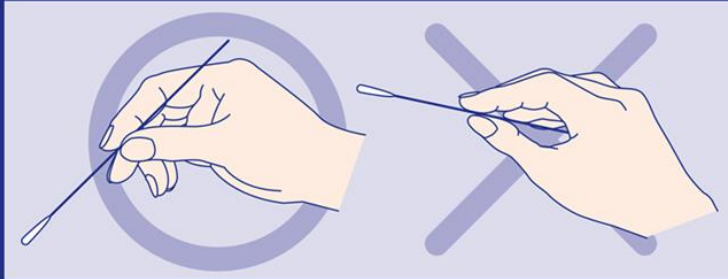
検体採取方法

検体採取時のPPE

COVID-19のPCR適応

検体採取方法

鼻咽頭における検体採取方法



スワブの持ち方

スワブはペンを持つような持ち方で、軽い抵抗でも滑るような強さで持つ（親指と人差し指で軽く挟む）。

検体採取の姿勢

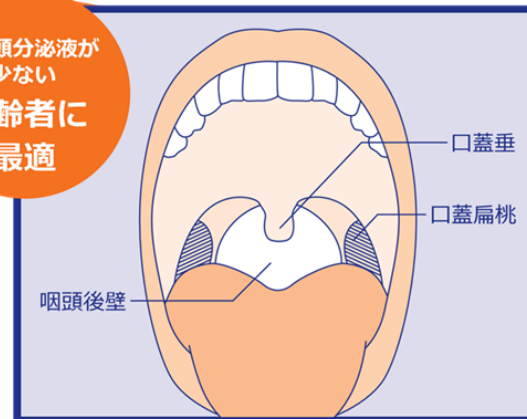
1. 成人は坐位、乳幼児は仰臥位が最適である。
2. 乳幼児は、仰臥位に不安を感じる時があるため、状況に応じ介助者が前に抱いて固定する。
3. 年長児でも、坐位では挿入時に手で払いのけたり、頭を後方に反らす時があるため、仰臥位が良い。仰臥位の固定は、介助者が両手首を持ち挙上させながら（バンザイの姿勢）、両側頭部を押さえる（足をバタバタさせる時は、膝の上を押さえ固定）。
4. はじめにしっかりと固定することが苦痛を最小にする。

咽頭拭い液の採取法

スワブを口腔から咽頭に挿入し、咽頭全体（咽頭後壁、口蓋、扁桃）をしっかりと数回擦過する。この時、口蓋垂を跳ね上げるようにして後ろの上咽頭まで拭うのが理想的である。

監修：原土井病院 臨床研究部部長 池松秀之

鼻咽頭分泌液が
少ない
高齢者に
最適



鼻腔拭い液の採取法

図のように外鼻孔から耳孔を結ぶ線を想定し、正面から鼻腔底に沿って適当な深さに(乳児は4cm、幼児4cm～5cm、学童5～6cm)静かに垂直に挿入し、行き止まりの最奥部(上咽頭)の数mm手前で止める。数秒間そのままの位置で手を離し、鼻汁を浸透させる。この時、「今、鼻汁を綿に吸わせているので少し我慢してね」などと話しかけ、状況説明とストレスを緩和させる。その後、鼻粘膜壁を軽く擦り、スワブを回転させながら(ゆっくり)引き抜く。スワブはしなやかに曲がるくらいのものを使用する。

注意1 挿入時はスワブを回転させたり、振らないように注意する。

注意2 暴れている時は、素早くスワブを持った手を離し、静止するまで待つ。鼻粘膜を損傷し鼻出血を起こす原因になるので、決して無理に挿入しない。

監修：高崎小児科医院 院長 高崎好生

咽頭拭い液に比べ
ウイルス量が
多い



日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

参考動画

鼻腔拭い液の採取法 ※下のURLをクリックしてください。

[NEJM Procedure: Collection of Nasopharyngeal Specimens with the Swab Technique](#)

山形大学「8:検体採取の方法」【約3分】 ※下のURLをクリックしてください。

<https://www.youtube.com/watch?v=bNZDoliTMDk>

・動画ではウイルス用の上気道検体採取セットを用いており、スワブは折って中に入れていきます。

検体採取時のPPE

一時的に大量のエアロゾルが発生しやすい状況※においては、上記にN95 マスクを追加します。N95 マスクを装着するたびにユーザーシールチェックを実施します 検体採取は原則N95マスクで実施-徳島県

着用

気道分泌物の吸引、気管挿管、NPPV装着、気管支鏡検査、心肺蘇生を行う可能性がある場合はN95マスクを使用する。

ポイント①

N95装着後はユーザーシールチェック

完成形



- a. 両手でマスクを覆う
- b. 息を強く吐き出す
- c. マスクと顔の隙間から空気が漏れないことを確認する



ポイント②

N95→シールドマスク→キャップの順



ポイント③

手袋でガウンの袖を覆う

※エアロゾルが発生しやすい状況：気管挿管・抜管、NPPV 装着、気管切開術、心肺蘇生、用手換気、気管支鏡検査、ネブライザー療法、誘発採痰など

脱衣

①ガウンと手袋は一緒に、裏返ししながら脱ぐ。



ガウンの表面をつかみ、



首のうしろ部分をちぎる。



裏が表になるように、



素手で表にふれないように



小さくまとめて、



捨てる。

③キャップ→シールドマスク→N95の順に

②手指衛生

顔に触れないように外す。

④手指衛生



②と④の手指衛生忘れずに！ 顔に触れない！ 丁寧に手順通り脱ぐ！

- (1) 個人防護具
- 通常は眼・鼻・口を覆う個人防護具（アイシールド付きサージカルマスク、あるいはサージカルマスクとゴーグル/アイシールド/フェイスガードの組み合わせ）、キャップ、ガウン、手袋を装着します（図1）

着用

ポイント①

シールドマスク

→ キャップ

の順に着ける

ポイント②

手袋でガウンの袖を覆う



脱衣

①ガウンと手袋は一緒に、裏返ししながら脱ぐ。



ガウンの表面をつかみ、



首のうしろ部分をちぎる。



裏が表になるように、



素手で表にふれないように



小さくまとめて、



捨てる。

②手指衛生

③キャップ→シールドマスクの順に

顔に触れないように外す。④手指衛生



②と④の手指衛生忘れずに！ 顔に触れない！ 丁寧に手順通り脱ぐ！

- 個人防護具を着用中また脱衣時に眼・鼻・口の粘膜に触れないように注意し、図1に示すタイミングで手指衛生を実施します。
- キャップの装着は必須ではありません。ただし、髪に触れた際に手指に付着したウイルスによる粘膜汚染が懸念されるため、特に髪を触りやすい方はキャップをかぶることを推奨します。
- タイベック®防護服などの全身を覆う着衣の着用は必須ではありません。
- 基本的にシューズカバーを使用する必要はありません。患者の状態に応じて必要ならば使用してください。

参考動画

山形大学「7：複数の個人防護具の着脱方法」【約3分半】

(※キャップ、ゴーグルなし) ※下のURLをクリックしてご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=RDWihQt4xql>

山形大学「9:検体採取後の個人防護具の処分方法」【約3分】

※下のURLをクリックしてご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=gl2CikKvfeA>

N95マスク着脱 山形大学「8:N95マスクの着脱方法」【約3分】

※下のURLをクリックしてご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=i151b4QBJpk>

COVID-19のPCR適応





新型コロナウイルス感染症について

～徳島県からのお知らせ～

【2020年3月31日】

※下記の内容は、今後の疫学情報や研究により、変更する可能性がありますので、最新の情報を参考してください。



新型コロナウイルス感染症とは

- ウイルス性の風邪の一種
- 感染から発症までの潜伏期間は、1～12.5日（多くは5～6日）
- 感染経路は、「飛沫感染」と「接触感染」
- 閉鎖した空間、近距離での多人数の会議等には、注意が必要

飛沫感染（ひまつかんせん）

- ① 感染者のくしゃみ、咳、つばなどと一緒にウイルスが放出
- ② 別の人が、そのウイルスを口や鼻から吸い込み感染



※主な感染場所
人が多く集まる場所

接触感染（せつしょくかんせん）

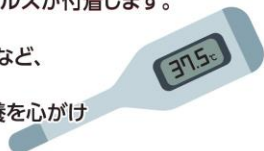
- ① 感染者がくしゃみや咳を手で押さえる
- ② その手で周りの物に触れてウイルスが付着
- ③ 別の人が、その物に触ってウイルスが手に付着
- ④ その手で目や鼻、口などを触って感染



※主な感染場所
手すり、ドアノブ、スイッチなど

感染の予防や気を付けること

- 「手洗い」を心がけましょう。帰宅時や調理の前後、食事前などに石けんでこまめに手を洗い、乾かしてから、手指消毒用アルコールで消毒しましょう。
- 咳やくしゃみを手で押さえると、その手で触ったものにウイルスが付着します。「咳エチケット」が非常に大切となります。（裏面参照）
- 持病がある方、高齢者の方は、**人混みの多い場所を避ける**など、より一層、注意してください。
- 発熱等の風邪の症状が見られるときは、自宅での安静・静養を心がけ毎日、体温を測定し、記録してください。



このような方はご注意ください

次の症状を目安に、ご心配な方は速やかにご相談ください。

● **強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある**

● **風邪の症状や37.5度以上の熱が4日以上続いている**

※ 次の方は重症化しやすいため、上の状態が**2日以上続く場合**に相談をお願いします。

・高齢者 ・基礎疾患（糖尿病、心不全、呼吸器疾患等）がある方

※ **妊娠中の方は**、念のため、重症化しやすい方と同様に早めの相談をお願いします。



**すぐに医療機関を受診せず
まずは、下記にご相談ください**

帰国者・接触者相談センター

徳島保健所	088-602-8907	吉野川保健所	0883-36-9018
阿南保健所	0884-28-9874	美波保健所	0884-74-7373
美馬保健所	0883-52-1016	三好保健所	0883-72-1123

● **新型コロナウイルス感染症に関する一般的な相談**（24時間対応可能）

徳島県健康づくり課感染症・疾病対策室

フリー
ダイヤル

0120-109-410



※聴覚に障がいのある方など電話でのご相談が難しい方は、FAXをご利用ください。 FAX:088-621-2841 ※受付/8:30～17:00（土・日・祝日除く）

■詳しい情報はこちら [徳島県](#)

検索

Q 現段階の行政検査の適応につき教えてください

A **37.5℃以上の発熱かつ呼吸器症状を有し、入院を要する肺炎が疑われる者**（特に 高齢者又は基礎疾患があるものについては、積極的に考慮する）

症状や新型コロナウイルス感染症患者の接触歴の有無など **医師が総合的に判断した結果、新型コロナウイルス感染症と疑う者**・**新型コロナウイルス感染症以外の一般的な呼吸器感染症の病原体検査で陽性となった者であって、その治療への反応が乏しく症状が増悪した場合に、医師が総合的に判断した結果、新型コロナウイルス感染症と疑う者**

（１）以下の検査を行った上で、陰性であった場合には検査を実施すること・季節性インフルエンザにかかる検査・その他一般的な呼吸器感染症の病原体の検査（２）結果判明までに時間がかかる培養検査などについては、当該検査結果を待つ必要はないこと

新型コロナウイルス感染症に

かかったと思ったら、

「帰国者・接触者相談センター」へ



COVID-19の可能性のある患者

□熱や呼吸器症状・味覚異常，嗅覚異常があり

- 1) 現在，流行地域から帰宅した同居人に発熱・急性の咳などの症状がある方
- 2) 現在，流行地域から帰った同居人が自宅隔離を要請されている方
- 3) 過去14日以内に，海外渡航の履歴がある方
- 4) 過去14日以内に，海外帰国した人との濃厚接触歴がある方
- 5) 過去14日以内に，感染者数が急増している都道府県への移動がある方
- 6) 過去14日以内に，屋内で50人以上が集まる集会・イベントに参加したことがある方

流行地域は非常事態宣言都道府県と他、人口当たりの人数が多い都道府県への注意が必要です